

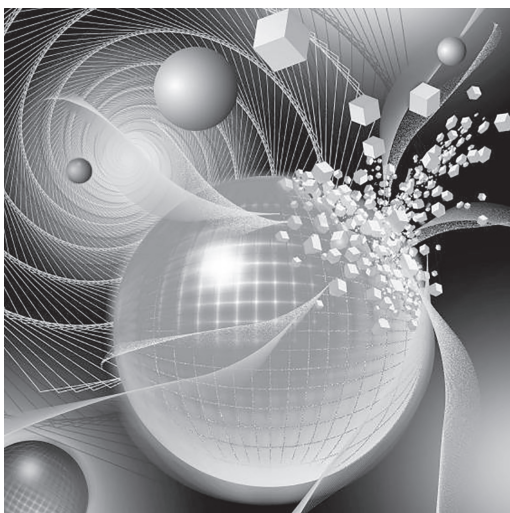
# 「技能と技術」誌表紙デザイン 最優秀賞受賞者インタビュー

## 「技能と技術」誌 編集事務局

### 1. はじめに

本誌では、例年、本誌に対する意識の高揚とデザイン教育の振興を目的とし表紙デザインコンテストを開催しています。本コンテストは、全国の職業能力開発施設のデザイン系学科の方を対象とし公募しております。そして、応募いただいた作品の中から優秀な作品を選出し、その中で「最も優秀」と評価された作品が、翌年に発行される本誌の表紙を飾ることになります。

本年度の表紙デザイン選考会（令和3年10月開催）では、大阪障害者職業能力開発校 Webデザイン科の大中結以さんの作品が最優秀賞に選出され、本誌第4号（令和3年12月発行）にてお知らせしたところです。



令和4年「技能と技術」誌表紙デザイン  
最優秀賞作品

本誌編集事務局では、最優秀賞作品を生み出したコツを知るため、3月某日、晴天に恵まれた中、同校を訪問し、大中さんおよびWebデザイン科担当の蒲地先生へのインタビューを行いましたので報告します。

### 2. 大阪障害者職業能力開発校 Webデザイン科

同校は、「挨拶」「感謝」「協調」の3つを校訓として掲げ、昭和14年に設立されました。伝統と多くの修了生を社会に送りだした実績をもつ障がい者のための職業能力開発施設です。



大阪障害者職業能力開発校の外観

『めざせ就職！学ぼう技能！』を合言葉に障がい者の社会参加・職業自立をめざしており、さまざまなニーズに対応するため、障がいのある方（障がいの種別を問いません）のために4科目（「OAビジネス科」「CAD技術科」「Webデザイン科」「オフィス実践科」）、知的障がい者の方のために1科目（「ワー

クサービス科」)、精神障がい者の方のために1科目(「職域開拓科」)、発達障がい者の方のために1科目(「Jobチャレンジ科」)が設置されており、障がいの種類や特性に応じた職業能力開発機会を提供しています。



「創造と希望が生まれるように」との  
願いが込められた光庭の『Cosmic Balance』

大中結以さんが学んでいるWebデザイン科は、Webに関するさまざまな知識と技術を身につけ、より優れたデザイン、仕掛け、使い勝手などを実現できるWebデザイナーの養成を目指しています。



Webデザイン科で制作された作品

### 3. 受賞者インタビュー

本年度の表紙デザイン募集には全国から121点の応募があり、厳正なる審査の結果、大中結以さんの作品が最優秀賞に選出されました。

訪問当日には、ご多用の中、淵田校長をはじめ、Webデザイン科担当の蒲地先生にも出席いただき、

校長室をお借りしまして、ささやかながら授賞式を行わせていただきました。



右より淵田校長、最優秀賞の大中結以さん、  
担当の蒲地先生

その後、大中結以さんにインタビューを行いました。緊張しながらも、作品について熱く話していただきましたのでご紹介します。

ー最優秀賞を知ったときの率直な感想を教えてください。

まずは大変驚きました。まさか自分が選ばれるとは全く思っていなかったのでびっくりしました。先生に受賞の知らせをもらったときに、パソコンに映っている作品が自分もので、最優秀賞だと書いてあり、「おお」と感嘆の声を上げたほどです。

ー周りの人からの反響はありましたか？

以前から、友人にコンペに申し込みをするときは教えてと言われていたので、この「技能と技術」誌の表紙デザインのことも伝えていました。すごくいい作品だとほめてくれていて、受賞を報告した時、大変喜んでくれました。そして、携帯の待ち受け画面にしてくれています。

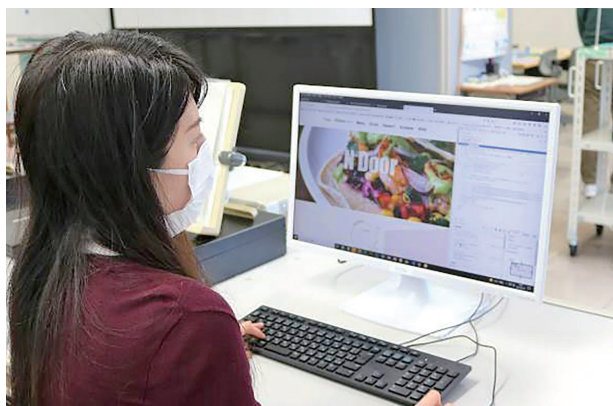
ー所属されているWebデザイン科について少々伺います。

Webデザイン科に入学された動機は？

2年ほど前から趣味で動画編集を友人と行っていました。画像加工などはやっていたのですが、Webデザインに係ることは特に何もやっていま



せんでした。ただ、創ることは好きだったので、Webデザインとは何だろうから始めて、自分に合っているのか、やりたいことにつながるかを検討してこの学校に入りました。



実習中の大中さん

—実際にデザインのソフトを使ってみてどうでしたか？

動画の編集ソフトと似ている部分もあるので、取り掛かりやすかったです。

別分野だけれども、結構考え方は似ているなと思いました。

—次に、「技能と技術」誌の表紙デザインを作り上げていくコンセプト設定やプロセスについて伺います。

まずは、「技能と技術」誌をご存じでしたか？

勉強不足で申し訳なかったのですが、全然知りませんでした。デザインの先生から「技能と技術」誌のことを教えていただき、初めて知りました。そしてみんなでコンペに申し込んでみませんかとの提案があり、応募させていただきました。

—コンペに応募することになり、自分の中でコンセプトを作っていくためにどのような作業（プロセス）を行ったのですか？

まずは「技能と技術」誌の説明を先生から聞き、過去の入賞作品を調べました。入賞作品は色々な技術を駆使して表現されていましたので、まだ入学して3カ月足らずの段階だったので心配でした。でも、自分の持っている技術をすべて駆使し、これまでに

教えてもらったことを詰め込めたらいいなと思い制作しました。また、「技能と技術」の意味も知らないといけないと考え、その意味を調べていくうちに球体が浮かんできました。その球体は実はキューブでできていて、それが集まって知識になり、技能や技術になっていくことをイメージしました。そして、そのイメージをラフで起こして、パソコンでデザインしていきました。

—実際にパソコンで作成していく中で何パターンも作成されたのですか？

はい。コントラストのバランスや、風があるような表現にするために、納得いくまで何パターンも作成しました。そして完成した作品を見たときには、自分の中で納得いく作品ができたと感じました。

—Webデザインを学び始めて短期間で納得がいくものに仕上げるためには、かなりご苦労があったのではないのでしょうか？

はい、初めてのコンペでしたので右も左もわからなかったのですが、先生方が熱心に指導してくださいました。本当に先生方のおかげだと思います。

—今後はこの受賞をどのように生かしていきますか？

この受賞経験を生かして、これからの就職活動にもぜひ役立てていきたいと思っています。

—次に担任の蒲地先生にもお話を伺いたと思います。

Webデザイン科について御説明いただけますか？

開設して15年程度ですが、大きくデザインと情報系の授業に分かれています。最終的にはwebページをデザインして、コーディングして作り上げていくことを科の目標としています。どちらも学べて自分で一からWebページをカスタマイズしていける人材を育てています。元々、身体障がいの方の科として始まった科だったのですが、現在は障害の種別を問わない科として募集をしています。障害者校でWebデザイン科が設置されているところはあるの

ですが、障害の種別を問わない科として実施しているところは全国的に見ても珍しいと思います。

—指導される上で、どのようなところにポイントを置いていらっしゃるのでしょうか？

自分は情報系の指導を行っているのですが、一番気を付けているところは、「わかりやすさ」です。前提知識がなくてもわかるような指導の仕方を心がけています。やはり、慣れてくるとついついわかっているだろうと思い込んで話してしまいがちなので、気を付けながら指導しています。

—最後に大中さんから一言お願いします。

4人先生がいらっしゃるのですが、どの先生も本当に教え方がわかりやすくて、常にみんなのモチベーションを上げてくださっています。その4人の先生がいらっしゃったので、今回賞を取ることができたと、心から感謝しています。

## おわりに

実習中にもかかわらずインタビューを受けていただきありがとうございました。インタビューを通して大中結以さんの作品に対する熱い思いと作品通りのイメージの人柄を感じることができました。なお、本年度の最優秀賞の作品については、審査員からポスターとしても優れているとのコメントをいただいたため、本年度開催の職業訓練教材コンクールのポスターにも採用されます。

### <参考文献>

- 1) 大阪障害者職業能力開発校公式サイト、本校の紹介  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/tc-shogaisha/hp/>  
参照：2022年5月
- 2) 大阪障害者職業能力開発校公式サイト、Webデザイン科  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/tc-shogaisha/hp/web.html>  
参照：2022年5月

